

平成29(2017)年度における医療事故及びヒヤリ・ハット事例について

1 レベル別件数

区分	レベル	内 容	29年度 2017			参考(28年度) 2016		
			岡本台病院	件数 とちぎリハビリテ- ションセンター	計	岡本台病院	件数 とちぎリハビリテ- ションセンター	計
ヒヤリ・ハット事例	0	エラー(※1)や医薬品・医療機器の不具合が見られたが、患者には実施されなかった。	226	86	312	114	121	235
	1	患者への実害はなかった(何らかの影響を与えた可能性は否定できない。)	661	236	897	397	265	662
	2	処置や治療は行わなかった(患者観察の強化、バイタルサイン(※2)の軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた。)	125	139	264	245	110	355
	3a	簡単な処置や治療を要した(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)。	56	28	84	41	27	68
	小 計 (ヒヤリ・ハット事例)(件) ①		1,068	489	1,557	797	523	1,320
	ヒヤリ・ハット事例の占める割合(%) (①/③×100)		99.6	99.8	99.7	99.9	98.1	99.2
医療事故	3b	濃厚な処置や治療を要した(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)。	4	1	5	1	10	11
	4a	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない。	0	0	0	0	0	0
	4b	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う。	0	0	0	0	0	0
	5	死亡(原疾患の自然経過によるものを除く。)	0	0	0	0	0	0
	小 計 (医療事故)(件) ②		4	1	5	1	10	11
	医療事故の占める割合(%) (②/③×100)		0.4	0.2	0.3	0.1	1.9	0.8
合 計(医療事故及びヒヤリ・ハット事例)(件) ③			1,072	490	1,562	798	533	1,331

※1 ある行為が、行為者自身が意図したものでない場合、規則に照らして望ましくない場合、第三者からみて望ましくない場合、客観的期待水準を満足しない場合などに、その行為を「エラー」という。

※2 血圧、脈拍、呼吸など

2 事象別件数

事 象	内 容	29年度 2017			参考(28年度) 2016		
		岡本台病院	件数 とちぎリハビリテ- ションセンター	計	岡本台病院	件数 とちぎリハビリテ- ションセンター	計
薬 剤	注射、点滴、内服薬など	183	123	306	212	132	344
輸 血	血液検査、輸血など	0	0	0	0	0	0
治療・処置	手術、麻酔、処置など	22	19	41	7	15	22
医療機器	医療機器など	4	25	29	4	12	16
ドレーン、チューブ類	チューブ、カテーテルなど	7	0	7	2	0	2
検 査	採血、撮影など	17	11	28	8	14	22
療養上の世話	転倒、転落、給食、栄養など	621	208	829	460	243	703
そ の 他		218	104	322	105	117	222
計(件)		1,072	490	1,562	798	533	1,331

((公財)日本医療機能評価機構による分類に準じる)

3 代表的事例及び対応策

No.	事 象	代 表 的 事 例	対 応 策
1	【レベル3b】 療養上の世話 (転倒)	患者がベッドの上に立って窓のカーテンを閉めようとした際にバランスを崩してベッド下に転落し、右大腿骨頸部骨折をした。	<p>繰り返しベッドの上に立ち上がらないよう注意し、ベッドの高さも低くしていたが発生してしまった事例である。</p> <p>引き続き、患者に対しては、ベッドの上に立ち上がらないよう注意喚起するほか、カーテンの開閉は、立て膝で行うことを実際に看護師が患者に見せて理解を得るようにした。</p> <p>また、患者の様子等から転倒の可能性が出てきた場合には、早めに職員間で情報共有を図り、事故発生を予防している。</p>
2	【レベル1】 検査	MRI検査の実施時に、患者に耳栓を装着させることを失念し、検査が中断された。	<p>MRI検査中に、患者がプザーを押し「検査の音がうるさく、これ以上検査を続けられない」と訴えたことにより耳栓の装着漏れが判明し、検査を終了した。</p> <p>MRI検査前には、病棟において検査に支障となるものがないかチェックリストで確認してから検査室に移動し、更に検査室でも確認を実施していたが、今回の事例を踏まえ、放射線科でもチェック表を作成するとともに、耳栓は事前にMRI専用寝台の上に準備することに変更した。</p>